九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

教育用電子計算機システムの紹介

多川, 孝央
九州大学情報基盤センター研究部

https://doi.org/10.15017/1470486

出版情報：九州大学情報基盤センター広報 : 学内共同利用版. 1 (1), pp.2-11, 2001-07. 九州大学情報基盤センター
バージョン：
権利関係：

教育用電子計算機システムの紹介

多川孝央*

1. はじめに

情報基盤センターでは，教育用電子計算機システム（以下「教育用システム」）を運用しています。

教育用システムは，主として計算機を利用した講義と，学習・教育活動の支援を目的とした設備であり，学内の箱崎理系・文系地区，六本松地区，病院地区にパーソナルコンピュータ（以下「PC」）を設置した講義室，自習室を設置しています。教育用システムでは，九州大学の学部学生と修士・博士課程の大学院生の全てに利用資格を発行しており，これらの学生・大学院生は各教室・自習室の PC を利用して講義を受け，またレポート作成や WWW ページの閲覧，情報検索などを行うことができます。また，教育用システムではメールの送受信や WWW ページの公開，ファイル保存などのサービスをホスト計算機によって行っており，利用者はこれらを自由に使うことができます。ここでは，教育用システムの設備，施設と利用可能なサービスについて解説します。

2. 教育用システムの概要

教育用システムは，情報基盤センターが提供する，講義および学習教育活動のための電子計算機システムです。卒論等の研究用には，各学部・大学院等が別途研究用に設置している計算機や，情報基盤センターの研究用計算機を使うことになります。教育用システムの設備を利用して講義を行いたい先生方は，情報基盤センター4 階の教育用システム受付（内線 4034，uketuke@cse. ec. kyushu-u. ac. jp）に問い合わせて頂ければ，講義利用のための案内をお送りします。

教育用システムは，箱崎理系地区内の情報基盤センター内に設置されているホスト計算機と，学内 5 地区 9 箇所に設置された利用者用 PC および講義支援用のプリンタやプロジェクタ，運用支援サーバ群，およびこれらを結ぶネットワークからなります。教育用システムの利用者用 PC を設置してある各教室の場所は，表 1 の通りです。

* 情報基盤センター研究部 E-mail:tagawat@ec.kyushu-u.ac.jp

表 1　教育用システムの教室と場所

地区・教室		場所
情報基盤センター	第一講義室	情報基盤センター４階
	第一自習室	情報基盤センター４階
	第二講義室	情報基盤センター２階
	第二自習室	情報基盤センター２階
文系地区分室		経済学部本館４階
農学部分室		農学部２号館２階２１０号室
病院地区分室		医学部附属統合教育実習センター３階
六本松地区分室	１３０番教室	六本松地区１号館３階　１３０番教室
	１３６番教室	六本松地区１号館３階　１３６番教室

また，各教室に設置してあるPCとプリンタの数の内訳は表２の通りです。

表 2　各教室の PC とプリンタ台数

地区・教室		PC 台数	プリンタ台数
情報基盤センター	第一講義室	56	5
	第一自習室	20	3
	第二講義室	51	5
	第二自習室	16	3
文系地区分室		61	5
農学部分室		26	2
病院地区分室		20	2
六本松地区分室	１３０番教室	79	4
	１３６番教室	69	4

教育用システムの利用には以下の優先順位があります。

1. 講義での使用
2. 講習会での使用
3. 演習や宿題のための使用
4. 日常活動のための使用

講義や講習会での使用は最優先であり，受講者以外の人はその教室で教育用システムの PC を使うことはできません。講義や講習会で教室が占有されていないときには，利用者は各教室の利用者用の PC を自由に利用することができます。

教育用システムを利用できる時間帯は各教室で異なります。表３に利用可能な時間帯を示します。

表 3　各教室の利用可能時間帯

分室	時間帯
情報基盤センター　第一・第二講義室，第一・第二自習室	8:30 - 20:00
六本松地区 130 番教室，136 番教室	8:00 - 20:30
文系地区分室	9:00 - 17:00
病院地区分室	9:00 - 18:30
農学部地区分室	8:30 - 16:10

また，利用者の皆さんへのお知らせを WWW 上で掲示しています。以下の URL は，教育用システムのホームページのものです。教育用システムの PC では，WWW ブラウザを起動したときにこのページが表示されるように設定してあります。利用者の皆さんは，この WWW ページを定期的にチェックし，管理者から利用者への皆さんへのお知らせに目を通すようにして下さい。

「情報基盤センター・教育用システムのホームページ」
http://www.cse.ec.kyushu-u.ac.jp/

3.　「利用の手引き」

利用者向けのマニュアルである「情報基盤センター教育用システム利用の手引き」を無料で配布しています。情報基盤センター４階の教育用システム受付か，六本松地区の附属図書館六本松分館の情報基盤センター六本松分室受付で入手することができます。あわせてお読み下さい。

また，「利用の手引き」は，WWW ページとしても公開しています。以下の URL の WWW ページを参照して下さい。

「情報基盤センター・教育用システム利用の手引き」
http://www.cse.ec.kyushu-u.ac.jp/manual/Tebiki2001/

4.　利用可能なサービス

利用者は以下のサービスを利用することができます。

メールサービス

各利用者が電子メールを利用することが可能になっています。受信した電子メールをシステムが保存しておくことができる容量は5MBまでとなっています。

教育用システムはWWWベースのメーラ（GraceMail）を導入しており，PC上での特別な設定をせずに，WWWブラウザ上からメールの閲覧・送信を行うことができます。GraceMailを利用するには，WWWブラウザを起動して，以下のURLのWWWページを開いて下さい。

「情報基盤センター・教育用システム　GraceMail」
https://mailserv.cse.ec.kyushu-u.ac.jp/

詳細は「利用の手引き」を参照して下さい。また，上記WWWページの右肩にある「ヘルプ」と書かれたアイコンをクリックすると操作説明のページが表示されますので，それも参考にして下さい。

ホームディレクトリの所有

利用者が自分で作成，または入手したファイルをファイルサーバ上に保存することができるようになっています。ファイルサーバ上の各利用者に割り当てられたファイル保存領域をホームディレクトリといいます。各利用者は50MBまでホームディレクトリにファイルを保存することができます。

WWWページの公開

各利用者が自分でホームページを作成して公開できるようになっています。ただし，ホームページの作成・公開にあたっては，内容に注意し，その上ファイルのパーミッション（閲覧・改変・実行権限）についての設定を適切に行う必要があります。この詳細については，「利用の手引き」を参照して下さい。

アプリケーション・プリンタの利用

講義および学生の学習・教育活動を支援する目的で，各教室に配置した利用者用のPCに各種アプリケーションを導入しています。また，各教室にはプリンタも設置しており，レポート作成等に利用することが可能です。

ダイアルアップ接続

教育用システムの利用資格を持っている人は，情報基盤センターのダイアルアップ接続サービスを利用できます。これによって，プロバイダと契約せずに，自宅のPCから電話線を使って大学のネットワークやインターネットに接続できるようになります。詳細については，本広報の解説記事や，以下のURLのWWWページを参照して下さい。

「電話回線を利用したコンピュータ接続サービスの開始」

http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/misc/network/ras.html

「利用の手引き　第１０章　リモートアクセスサービス」
http://www.cse.ec.kyushu-u.ac.jp/manual/Tebiki2001/node11.html

5. パーソナルコンピュータ（PC）

教育用システムは，ネットワークを経由してホスト計算機を使う方法と，各講義室・自習室・分室に設置してあるPCを使う方法で利用可能です。以下に教育用システムのPCとその使い方について紹介します。

教育用システムで設置している利用者用のPCは，FMV-6500CL4cという機種です。この機種の性能は下記の通りです。

- CPU　Intel Celeron500MHz
- 主記憶量　128MB
- ハードディスク容量　10.2MB
- 表示装置　15インチ液晶カラーディスプレイ
- CD-ROM　24倍速
- OS　Windows NT 4.0

5.1. アプリケーション

教育用システムのPCにインストールされているアプリケーションで，主なものを表４に示します。利用者はこれらのアプリケーションを利用してレポートを作成したり，プログラムの勉強をしたり，情報を検索したりすることができます。学習・教育環境のひとつとして有効に活用して下さい。

表 4　教育用システムPCにインストールされている主要なアプリケーション

名称	内容
Microsoft Word2000	日本語ワープロソフトウェア
Microsoft Excel2000	表計算・データ分析ソフトウェア
Microsoft VisualStudio6.0	プログラミング言語および開発環境
Internet Explorer5.0	WWWブラウザ
Netscape Communicator4.6	WWWブラウザ
Lhaplus	ファイル圧縮・展開ソフトウェア
FFFTP	FTPクライアント
GSView	ポストスクリプトファイル表示

5.2. ネットワークドライブ

教育用システムでは，samba という仕組みを使って，利用者のホームディレクトリ（個人領域）を教育用システムの利用者用 PC から利用できるようにしています。各利用者のホームディレクトリは，PC にログインした時に，PC の Z ドライブとして割り当てられ，利用することができるようになります。PC 上で作成したファイルを Z ドライブに保存しておくようにすれば，次回教育用システムの別の PC からログオンしても，同じファイルを使って作業を続けることができます。教育用システムでは利用者個人のホームディレクトリの大きさは 50MB としています。これ以上の量のファイルは保存できませんので注意して下さい。

また，一時的に大きなファイルを保存し，また複数の利用者で共有することができるように，共有領域を設定しています。これは同じく samba で，PC の Y ドライブとして割り当てられており，自由にファイルを置くことができます。この領域は「students」「teachers」「system」の三つのフォルダに分かれていて，学生の利用者は「students」，教官は「teachers」にファイルを置けるようになっています。「students」フォルダ内のファイルには寿命が設定されており，ここに置かれて一週間以上変更されずに放置されたファイルは消去されます。

5.3. プリンタ

レポートの作成等，利用者の学習・教育活動の支援のために，各教室にプリンタを設置しています。利用者はこのプリンタを使い，教育用システムの PC 上から印刷を行うことができます。

教育用システムのプリンタでは，用紙の左上と右下に，「情報基盤センター」の文字と印刷を行った人のユーザ ID が印刷されるようになっています。

教育用システムは大学が情報処理教育のために設置したもので，プリンタによる印刷も教育目的のものに限って行うことができます。アルバイト関係の印刷やサークル関係のチラシ，その他私用での印刷は禁止しています。

また，節約・省資源を心がけ，できるだけ少ない枚数で印刷を済ませるように努力して下さい。教育用システムでは各利用者の印刷出力の記録をとっています。あまりに多くの枚数を出力している場合には，印刷出力をできなくする措置をとることがあります。

利用法等詳細については，「利用の手引き」を参照して下さい。

6. UNIX ワークステーション

利用者が直接操作する PC の他に，UNIX ワークステーションを利用することができます。教育用システムでは３台のワークステーションを持っています。これらはそれぞれアプリケーションサーバ，ファイルサーバ，情報提供サーバという名称で，複数の

機能を分担して提供しています。機能分担の内訳は表５の通りです。

表 5　教育用システム　ホスト計算機の機能分担

ホスト名称	役割
アプリケーションサーバ	ユーザによるアプリケーションの実行
ファイルサーバ	ディスクスペースの提供，メールサービス
情報提供サーバ	WWW ページ公開，WWW キャッシュサービス

これらの UNIX ワークステーションのうち，利用者の皆さんが直接操作を行って利用できるのは，アプリケーションサーバ (計算機名は ah. cse. ec. kyushu-u. ac. jp) です。

教育用システムのワークステーションは，ネットワークを経由した遠隔操作によって利用します。教育用システムの PC では，操作方法として「Telnet または ssh による接続」を提供しています。また，情報基盤センター内の PC からは，X Window System を利用した接続を行うことも可能です。これらの接続法，操作法については「利用の手引き」を参考にして下さい。

7.　利用上の注意

教育用システムは基本的に講義のために設置されており，講義が行われているとき，その講義の受講者でない人はその部屋に入室することはできません。また，利用は学習・教育目的に限って許されています。日常生活のためにメールを送受信したり，WWW ページを閲覧したりすることを特に禁じてはいませんが，PC の設置してある部屋が混んでいてレポートを作成したり資料を調べたりしたい人が利用できないようでは困ります。学習・教育と関係のない私的な目的での利用は行わないようにして下さい。また，教育用システムでゲームをすることは禁止しています。違反者は利用資格を停止することがあります。

上記の基本的な注意事項に加えて，以下のような注意点があります。

パスワードに関して

パスワードは個人認証のための重要な情報です。他人に知られないように厳重に注意して下さい。また，パスワードはできるだけ定期的に変更するようにして下さい。教育用システムでは，パスワードは６文字以上８文字以下，１個以上の数字もしくは特殊文字と２個以上のアルファベットからなるものを有効なパスワードとしています。自分にとって覚えやすく，他人に推測されにくい文字列にして下さい。また，配布された初期パスワードと同じものに戻してもいけません。

教育用システムでは，WWW を利用して，ネットワークを介してパスワードを変更できるシステム，「スルーPASS」を導入しています。以下の URL の WWW ページから，教育用システムのパスワードを変更することができます。

「パスワード変更システム　スルーPASS」
https://web-passwd.cse.ec.kyushu-u.ac.jp/tpass/

不正利用・不正侵入の禁止

他人の利用資格を無断で使用してはいけません。また，計算機システムの不法な侵入も禁止します。これらは平成１２年２月から施行された「不正アクセス防止法」によって法的な処罰の対象となる行為です。

著作物の不法コピーの禁止

ゲームや音楽CD等ソフトウェアの無断複製は著作権上問題があり，教育用システムではこれを禁止します。

営利行為の禁止

教育用システムは，大学が学習・教育および研究等の学術目的で運営しているシステムです。ソフトウェアやデータの販売，勧誘，ねずみ講，マルチ商法等の営利行為は禁止します。また，アルバイト等でかかわっている商店・会社の宣伝もいけません。

講義室や自習室での飲食・喫煙の禁止

PCの設置してある部屋での飲食および喫煙はPCの故障の原因となります。これを発見した場合には，意図的な破壊活動と見なして利用資格を抹消します。

インターネット上のマナーに関して

電子メールや掲示板などのネットワーク上のコミュニケーションでは，表情や声がわからないために，書いた文章が相手に意図しない印象を与えることがあります。冗談のつもりで書いたことが批判や脅迫と誤解されてしまうかもしれません。相手にどのように受け止められるかをよく考えて文章を書くようにしましょう。また，他人を誹謗・中傷する書き込みや無責任な発言は控えて下さい。

プライバシー・個人情報保護への配慮

インターネット上で公開された情報は，誰によってどのように利用されるか予想がつきにくく，不用意な個人情報の公開はトラブルが発生する原因になることがあります。自分の個人情報の公開は個人の責任です。自分の情報を公開するにあたっては熟慮して下さい。また，他人についての個人情報を公開することはプライバシーの侵害にあたり，これもやってはいけません。

8. トラブル・質問等の問い合わせについて

教育用システムの利用中に機器のトラブルや，操作の上でわからないことがある場

合には，利用している場所や時間帯によって，表６の連絡先に問い合わせて下さい。

表 6　質問・トラブル時の連絡先

連絡先	場所	電話番号・電子メールアドレス
教育用システム受付	情報基盤センター４階	092-642-4034（内線は下４ケタ） uketuke@cse. ec. kyushu-u. ac. jp
六本松分室受付	附属図書館六本松分館内	092-726-4819（内線は下４ケタ）
プログラム相談員	情報基盤センター，六本松１３０番・１３６番教室，農学部	night-worker@cse. ec. kyushu-u. ac. jp

情報基盤センター４階の教育用システム受付，および，六本松地区の附属図書館２階の六本松分室受付では，情報基盤センターの職員が対応します。また，時間帯によっては情報基盤センター内，六本松地区分室，農学部分室では黄色い腕章をつけたプログラム相談員が在室しており，こちらに質問することも可能です。

受付やプログラム相談員が対応できない時間帯や場所では，電子メールによる問い合わせも受け付けています。ただし，パスワードを忘れてしまった場合の対応には，学生証を持参の上で情報基盤センター内の教育用システム受付か，六本松地区の図書館内の分室受付まで来て下さい。

問い合わせを行う場合には，以下のことを注意するようにして下さい。

氏名・所属・ユーザ ID をはっきり告げること。
メールでの質問の場合は，（教育用システムのメールが使えない場合を除き）教育用システムのメールを使って質問すること

教育用システムでのトラブルは，PC 上での操作状況や個人の環境設定の状態，個人スペース上に保存してあるファイルの量や未読のメールの数などに関係して起こることが多く，これを解決するには利用者個人のファイルの状態を調査する必要があります。このため，ユーザ ID の情報が必要になります。また，場合によってはファイルの一部を削除したり修正したりする必要があり，問い合わせをしてきたのが間違いなく当人であることを確認することが必要になります。このため，問い合わせのメールは，基本的に教育用システムのメールアドレスから送っていただく必要があります。

問い合わせをする前に，「利用の手引き」や，ヘルプファイル等を読んでおくこと

教育用システムの使い方全般については「利用の手引き」に書いてあり，教育用システムの PC のデスクトップ上から WWW ページを開いて読むことができます。また，教育用システムの PC にインストールしてあるアプリケーション類には操作説明を記述し

たヘルプファイルが用意してあり，アプリケーション上から読むことができます。

PC やネットワーク，システムの動作がおかしいという「トラブル」ではなくて，教育用システムやアプリケーションの使い方がわからないという問題は，大抵「利用の手引き」やヘルプファイルを読むことで解決できます。誰かに質問や問い合わせをする前にこれらの情報に目を通し，できるだけ自分で問題を解決するようにしましょう。

使っている PC の番号，アプリケーション，操作内容，現象を詳しく報告すること

アプリケーションのバグ，OS の環境設定，ネットワークの状態，操作の手順，利用者による設定内容，PC の故障やファイルの破損など，トラブルの発生原因としては，さまざまなことが考えられます。トラブルが起きた時の状況を整理して詳しく報告すれば，早く原因を突き止めトラブルを解決することができます。PC の番号は，液晶ディスプレイに貼ってあるシールに書いてありますので，問い合わせのときにはこの番号も報告して下さい。

9. おわりに

以上が，教育用システムの概要です。教育用システムは九州大学の学生の皆さんが自由に利用できる計算機・ネットワーク環境であり，日頃の勉強，レポート作成，就職活動や日常生活に大いに役立てて頂きたいと思います。

本稿では紙幅の都合上概略を紹介するにとどまりましたが，教育用システムを実際に活用する際には，「利用の手引き」を入手し，その内容をよく読んで利用するようにして下さい。